

第8回レファレンス協同データベース事業フォーラム開催要項

「レファレンス協同データベース事業の Next Step: 人の輪が生みだすレファ協の未来」をテーマにフォーラムを開催します。

平成14年度の実験事業開始から10年目を迎え、専門図書館協議会や学校図書館の実験参加、サポーター登録制度の開始など、レファ協を軸にした人々の輪が大きく広がりはじめています。事業が次の一步を踏み出すために、これまでの歴史を振り返り、参加館アンケートの結果などから見える現状を踏まえて、レファ協の未来について語り合うことを目的とします。

1 開催日時

平成24年2月27日(月) 11:00～16:30

2 会場

国立国会図書館 関西館（京都府 相楽郡 精華町）大会議室

3 参加対象

当事業参加館、および当事業に関心のある方

※各種図書館、関係機関、図書館情報学研究者、図書館情報学専攻の学生の方など、多くの方のご参加をお待ちしております。

4 プログラム(敬称略)

※講演・報告タイトルは若干変更になる場合があります。

【午前の部 11:00-12:25】

- (1) 開会あいさつ 国立国会図書館 関西館長事務代理 石川武敏
- (2) 事業報告 国立国会図書館 関西館 図書館協力課
- (3) 基調講演: **Linking Everyone to Everybody** :人の輪をつなげる・ひろげる
—国立国会図書館レファレンス協同データベース事業、現状からの展開—
羽衣国際大学 人間生活学部 准教授 谷本達哉

【午後の部 13:35-16:30】

- (4) 実践報告1: 東京都立図書館のレファレンスとレファレンス事例データベース
東京都立中央図書館 神林秀樹
- (5) 実践報告2: レファ協による人と人をつなぐ情報発信 —「調べ方マニュアル」の可能性—
近畿大学中央図書館 寺尾隆
- (6) 実践報告3: 茨城県立歴史館におけるレファ協を活用した新たな取り組み
茨城県立歴史館 坂本幸子
- (7) パネルディスカッション:
レファレンス協同データベース事業の Next Step: 人の輪が生みだすレファ協の未来
コーディネーター: 秋田県立図書館 山崎博樹

パネリスト	:羽衣国際大学 人間生活学部 准教授 専門図書館協議会 事務局長 京都府立高等学校図書館協議会司書部会 (京都府立農芸高等学校) 京都府立高等学校図書館協議会司書部会 (京都府立西舞鶴高校) (株)リクルートドクターズキャリア (レファレンス協同データベース事業サポーター)	谷本達哉 鈴木良雄 清水都 香西瑠衣 島津英昌
(9) 閉会あいさつ	国立国会図書館 関西館 図書館協力課長	佐藤従子

※ フォーラム開始前及び昼休憩時に、関西館内の見学を実施いたします。

(第1回 10:20~10:50 第2回 12:30~13:00 参加は任意、各回定員24名、先着順)

※ フォーラム終了後、交流会を実施いたします。(16:45-17:45 参加は任意)

※ 昼休憩時に、国立国会図書館サーチのデモンストレーションを実施いたします。(13:15-13:30 参加は任意)